



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年 1月 28日

上場会社名 東亜石油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5008 URL https://www.toaoil.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)原田 和久
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理担当取締役 (氏名)宍戸 康行 (TEL)044(280)0600
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	18,505	△6.2	1,181	38.3	1,153	38.1	927	8.0
2021年3月期第3四半期	19,719	1.8	854	△32.5	834	△37.1	858	△21.6

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,049百万円(14.6%) 2021年3月期第3四半期 917百万円(△21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	74.55	—
2021年3月期第3四半期	69.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	94,907	28,772	30.3
2021年3月期	94,567	28,221	29.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 28,772百万円 2021年3月期 28,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,900	△9.1	1,600	△41.5	1,600	△40.7	1,200	△38.8	96.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	12,443,500株	2021年3月期	12,443,500株
2022年3月期3Q	4,174株	2021年3月期	4,063株
2022年3月期3Q	12,439,352株	2021年3月期3Q	12,439,914株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月～12月)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数は減少に転じ、緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら直近では、新たな変異株により各地で感染症が再拡大しているなど、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たず、先行きは依然として不透明な状況であります。

このような状況の下、当社京浜製油所および水江発電所は概ね安定的に操業を継続いたしました。

石油事業においては、当社京浜製油所は、出光興産株式会社との受託精製契約に基づき、2,934千kL(前年同四半期比4.2%増)の原油・原料油を処理しました。

電気事業においては、当社水江発電所は、出光興産株式会社との受託発電契約に基づき、1,046百万kWh(前年同四半期比18.1%増)を送電しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高18,505百万円(前年同四半期比6.2%減)、営業利益1,181百万円(前年同四半期比38.3%増)、経常利益1,153百万円(前年同四半期比38.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益927百万円(前年同四半期比8.0%増)となりました。

原油・原料油処理量および送電量は増加しておりますが、石油製品と原油・原料油の価格差が前年同四半期と比較して縮小しており、依然厳しい状況は継続しております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2021年10月28日に公表しました前予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	460	498
売掛金	2,977	2,032
棚卸資産	4,713	4,319
立替揮発油税等	29,292	33,269
その他	2,398	2,444
流動資産合計	39,842	42,564
固定資産		
有形固定資産		
構築物（純額）	5,953	5,635
機械及び装置（純額）	16,697	15,410
土地	19,943	19,943
その他（純額）	6,327	5,963
有形固定資産合計	48,921	46,952
無形固定資産	383	308
投資その他の資産	5,420	5,082
固定資産合計	54,724	52,343
資産合計	94,567	94,907
負債の部		
流動負債		
短期借入金	19,999	18,344
未払揮発油税等	26,629	30,245
引当金	489	273
その他	9,730	5,815
流動負債合計	56,849	54,677
固定負債		
特別修繕引当金	2,863	2,852
修繕引当金	4,257	6,681
退職給付に係る負債	1,914	1,518
その他	461	404
固定負債合計	9,496	11,456
負債合計	66,346	66,134

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,415	8,415
資本剰余金	4,323	4,323
利益剰余金	15,530	15,960
自己株式	△7	△7
株主資本合計	28,261	28,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82	-
退職給付に係る調整累計額	△122	82
その他の包括利益累計額合計	△39	82
純資産合計	28,221	28,772
負債純資産合計	94,567	94,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	19,719	18,505
売上原価	17,774	16,248
売上総利益	1,945	2,256
販売費及び一般管理費	1,091	1,075
営業利益	854	1,181
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	6	3
受取賃貸料	41	9
受取保証料	19	23
その他	12	1
営業外収益合計	81	39
営業外費用		
支払利息	68	47
有形固定資産処分損	5	3
その他	27	15
営業外費用合計	101	67
経常利益	834	1,153
特別利益		
固定資産売却益	59	—
投資有価証券売却益	—	135
関係会社事業整理損失戻入額	—	50
火災損失引当金戻入額	238	—
違約金収入	156	—
特別利益合計	453	186
特別損失		
投資有価証券売却損	—	25
投資有価証券評価損	39	5
その他	—	1
特別損失合計	39	33
税金等調整前四半期純利益	1,249	1,306
法人税、住民税及び事業税	380	486
法人税等調整額	10	△107
法人税等合計	390	378
四半期純利益	858	927
親会社株主に帰属する四半期純利益	858	927

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	858	927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△82
退職給付に係る調整額	51	204
その他の包括利益合計	58	122
四半期包括利益	917	1,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	917	1,049

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。